

マイコプラズマ感染症

マイコプラズマ感染症が増加中との報道がなされました。今回はマイコプラズマ感染症に関してのお話です。

正確には肺炎マイコプラズマと言う菌です。その名の通り肺炎や気管支炎（咳がたくさんでる風邪）を起こしやすい菌です。肺炎と聞くと重症なイメージがあるかもしれませんが、この菌自体が直接体を攻撃する力はさほど強くありません。肺炎を起こす他のウイルスや細菌が次々と肺の細胞を壊して炎症をおこし、痰等の分泌物が増えた「湿った咳」をするのに対して、マイコプラズマはさほど細胞にダメージを与えないため分泌物も少なく「乾いた咳」が出るのが特徴です。

マイコプラズマは何処にでもいる菌で、咳等で飛び散った唾液等を介して感染します。幼児期はさほど頻度は高くありませんが、小学校にあがるぐらいから感染の頻度があがります。おおざっぱに言うと小学校で咳をしている子を10人ぐらい集めてきたら、4人ぐらいはマイコプラズマが原因です。